

ねこ瓦を愛する会主催

子どもから
大人まで
楽しめる♪

弦楽アンサンブル 「弦庭」コンサート

2025 11.29(土) 14:00 開演
(13:30 開場～15:30)

西部公民館 大ホール

私たちは、塩尻地区（上・下・秋和）に古くから残る「ねこ瓦」を保存されるよう若者や市民と交流しながら知らせる活動を行い、3年を迎えました。

今年は、去年の「ねこ型花壇」コンサートに続き、公民館大ホールで信州大学 OB の方々で構成される「弦庭」の皆さんによる、弦楽演奏をお贈りします。

演奏曲

- となりのトトロより「ネコバス」
- 中島みゆき 「糸」
- その他ねこや上田紬を連想させる曲
— 途中休憩あり —



弦楽アンサンブル「弦庭」プロフィール

「庭」で過ごすようなアットホームな時間をお客様と演奏者が共有することを目指して、安達春彬が縁の奏者を募って結成したアンサンブル。2024年に旗上げ公演を茅野で開催した。次回演奏会は2026年1月17日に上田市サントミュージアムホールで開催予定。



西部地域
デジタルマップ

入場料

中学生以下無料

高校生～大人 700 円(当日受付払い)

定員

60 名程度

● 駐車場に限りがありますのでお近くの方は徒歩、お車の方は乗り合わせでお越しください。

当日連絡先…山崎民子 080-1232-0512

協力：西部地域まちづくりの会、藤本蚕業歴史館、上田グローバル共生社会づくり研究会、
長大ボランティアサークル ミズマチ、原商店、小岩井紬工房

※この活動は、令和7年度「上田市活力あるまちづくり支援金」を活用しています。

猫瓦とは何でしょうか

猫瓦とは、猫が両耳を立てたような形をした鬼瓦の一種で、棟の端を止める鬼瓦の簡略な瓦として主に付属棟や二階の庇の棟、あるいは気抜き屋根の棟などに使われました。その姿が猫の顔の形に似ていることから猫瓦と呼ばれるようになったと言われ、ユニークな名前と姿から最近よく話題になるようになりました。

養蚕農家は、大切な蚕を守るために、ネズミの天敵である猫を飼って被害の減少に努めたり、猫面瓦を魔除けとして飾ったようです。

猫瓦は大きく分けると二つの瓦になります。一つは「猫の目鼻や動植物をモデル化して掘り込んだもの」、もう一つは「水」の文字を刻み、蚕室などが火災に遭わないようお願いを込めたものなどがあります。

いずれも養蚕農家の切実な願いが込められていると考えられます。

ご覧ください！

ねこ瓦を紹介しています！



こいわいカリナ youtube
蚕都みりよく発見!!!
蚕都の郷土塩尻「ねこ瓦」編